

# 白百合女子大学学則

## 第1章 総則

### 第1条

(建学の精神)

白百合女子大学における教育の基本理念はキリスト教、特にカトリシズムの世界観による人格形成にある。

本学の母体であるシャルトル聖パウロ修道女会の創立の精神に則り、知性と感性との調和のとれた女性の育成をめざす。

(教育目標 一真・善・美一)

真理の探求という知性の絶えざる研磨に加え、人格的自己完成という単独では獲得しえない徳性を、人々への誠実な愛と奉仕の姿勢を身につけることによって可能な限り追求し、自己と自己をとりかこむ一切のものの中に美を見出し、また謙虚さに根ざした畏敬の念を感受してゆくこと、そこに本学の教育目標は置かれている。

校名、校章にも「白百合」の花を選び、清楚、謙虚さの中に気品を保ち、豊かな人間性と広い視野のうえに専門的な知識を備えた自立的女性の育成を、その目標とする。

- 2 本学は、教育研究水準の向上を図り大学の目的および社会的使命を達成するため、自ら点検評価を行う。

第2条 本学に大学院を置く。

- 2 大学院の学則は別に定める。

第3条 本学に文学部および人間総合学部を置く。

- 2 文学部に国語国文学科、フランス語フランス文学科および英語英文学科を置く。
- 3 人間総合学部に児童文化学科、発達心理学科および初等教育学科を置く。

第3条の2 文学部は、専攻する言語・文学・文化の研究を通して、高いコミュニケーション能力を身につけ、自文化と他文化にわたる豊かな教養をもとに、多様な場面で他者と対話し、協働できる人材の

育成を目的とする。

- 2 国語国文学科は、日本の言葉や文学を見つめ直し、調査・研究する力を身につけることを通して、

豊かな教養と柔軟な発想をもった人材の育成を目的とする。

- 3 フランス語フランス文学科は、フランス語圏の言語・文化・文学の総合的な学習を通して、高度な言語運用能力と異文化理解に立脚した教養を身につけた人材の育成を目的とする。
- 4 英語英文学科は、英語圏の言語・文化・文学の研究を通して、海外だけでなく自国の文化をも再評価できる広い視野を培い、国際的に活躍できる人材の育成を目的とする。

第3条の3 人間総合学部は、児童自身が享受し参加する文化に対する深い理解を基礎に、その心身の発達を生涯に渡って支える視野と高度な専門性をもって、広く社会に貢献する人材の育成を目的とする。

- 2 児童文化学科は、児童の環境を形成する児童文学・児童文化の研究と絵本・童話などの創作を通して、想像力と創造力をもった人材の育成を目的とする。
- 3 発達心理学科は、人間の生涯発達とその臨床的対応について、発達心理学の立場から研究・教育を行い、幅広い分野で専門的な発達支援を行う人材の育成を目的とする。
- 4 初等教育学科は、乳幼児期・児童期の子どもの発達とその環境となる児童文化の理解に基づき、子どもの成長を支える熱意と豊かな学びを導く力量を備えた教師・保育者の育成を目的とする。

第4条 修業年限は4年とする。

第5条 在学年数は8年を超えることができない。

第6条 学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
文 学 部	国 語 国 文 学 科	80人	320人
	フランス語フランス文学科	80人	320人
	英 語 英 文 学 科	80人	320人
人間総合学部	児 童 文 化 学 科	60人	240人
	発 達 心 理 学 科	60人	240人
	初 等 教 育 学 科	75人	300人

第7条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、事務職員その他必要な教職員を置く。

2 教職員組織に関する規程は、別に定める。

第8条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

1 学生の入学および卒業

2 学位の授与

3 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長および学部長（以下この項において「学長等」という）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 前二項に規定するもののほか、教授会に関する規程は、別に定める。

5 文学部、人間総合学部に学部教授会を置く。学部教授会には、前項までに規定するもののほか、教授会に関する規程を準用する。

第9条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 1学年を分けて、次の2学期とする。

前学期 4月1日から 9月30日まで

後学期 10月1日から 3月31日まで

第10条 休業日は次のとおりとする。

1 日曜日

2 国の祝日に関する法律に規定する休日

3 本学の創立記念日 6月29日

4 夏期休業 7月21日から9月30日まで

5 冬期休業 12月21日から翌年1月7日まで

6 春期休業 3月20日から3月31日まで

学長は必要がある場合、休業日もしくは休業期間を変更し、または臨時に休業日を定めることができる。

## 第2章 入学・休学・復学・退学・除籍・再入学・編入学・転学部・転学科・留学

第11条 入学の時期は学年の始めとする。

第12条 本学へ入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する女子であることとする。

- 1 高等学校または中等教育学校を卒業した者。
  - 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
  - 3 学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。（次の各号の一に該当する者）
    - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
    - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
    - ③文部科学大臣の指定した者。
    - ④高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者。
    - ⑤その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。
- 第13条 本学へ入学を志願する者は、入学願書およびその他別に定める書類に所定の入学検定料を添えて、所定の期日内に願出しなければならない。
- 第14条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。
- 第15条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書およびその他別に定める書類を提出するとともに、所定の学納金を納付しなければならない。
- 2 学長は、前項の入学手続きを不備なく完了したと認めた者に対し入学を許可する。
  - 3 第1項の提出書類に虚偽または不正があった場合には、入学の許可を取り消すことがある。
- 第16条 学生が病気のため引き続き2か月以上休養を要するとき、その他特別の事由があると認められるときは、学長の許可を得て休学することができる。ただし、休学の期間が次年度にわたる時は、学年の始めに改めて願出しなければならない。
- 2 病気、その他の事由により、通学することが適当でないと認められる学生に対して、学長は休学を命ずることができる。
- 第17条 休学期間は、4年を超えることができない。
- 2 休学期間は修業年限および在学年数の中に、これを算入しない。
- 第18条 休学期間内にその事由がなくなったときは、学長の許可を得て、復学することができる。
- 第19条 退学しようとする者は、その理由を記載し、保証人連署のうえ、学長に願出しなければならない。
- 第20条 他の学校へ入学または転学しようとする者は、その旨を願出で、学長の許可を得なければならない。
- 第21条 次の各号の一つに該当する場合は、除籍する。
- 1 在学期間が所定の年数を超える者。
  - 2 学納金を滞納し、催告を受けても納付しない者。
- 第22条 本学を退学、または除籍された者が、再び入学を志願したときは、選考のうえ、再入学を認めることができる。
- 第23条 本学の1学科を卒業した者が、再び他の学科へ入学を志願したときは、選考のうえ、これを認めることができる。
- 第24条 次の各号の一つに該当する者で本学への編入学を志望する者には、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。
- 1 大学を卒業した者。
  - 2 短期大学または高等専門学校を卒業した者。
  - 3 他大学の2年次までの課程を修了し、62単位以上を修得して退学した者。
  - 4 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が

1,700時間以上であるもの)を修了した者。

- 5 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者。

第24条の2 本学内で他学部の学科または同一学部内の他学科へ転学部または転学科を志望する者には、選

考のうえ、これを許可することがある。

第25条 本学学生にして、外国の大学(外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、またはこれに相当する教育研究機関をいう。以下同じ。)で、一定以上学修することを志望する者には、本人の教育上有益であると認められた場合にかぎり、これを許可することがある。

- 2 前項の制度を留学という。
- 3 留学に関する事項は、別に定める。

### 第3章 授業科目、履修方法および学習の評価

第26条 文学部の授業科目を、宗教学科目、共通科目、外国語科目および学科専門科目に区分する。

- 2 人間総合学部の授業科目を、宗教学科目、共通科目、外国語科目、学部共通科目および学科専門科目に区分する。

第26条の2 本学における授業科目および単位数は、別表1のとおりとする。

第26条の3 各学部における履修方法および卒業要件単位数は次のとおりとする。

#### 文学部

科目区分	学 科		
	国語国文学科	フランス語フランス文学科	英語英文学科
宗教学科目		8	
共通科目		20	
外国語科目		8	
学科専門科目		62	
科目区分を特定しない自由選択単位		26	
卒業要件単位		124	

#### 人間総合学部

科目区分	学 科		
	児童文化学科	発達心理学科	初等教育学科
宗教学科目	8	8	8
共通科目	12	12	12
外国語科目	8	8	8
学部共通科目	8	8	8
学科専門科目	70	78	88
科目区分を特定しない自由選択単位	18	10	—
卒業要件単位		124	

科目区分を特定しない自由選択単位については、別表1に掲げる科目のうち、履修可能な科目から選択し、履修するものとする。

第 27 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- 1 講義および演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- 2 実験、実習および実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- 3 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前 2 号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- 4 卒業論文等については、学修の成果を評価するものとし、4 単位から 8 単位の範囲で所定の単位を与える。

第 27 条の 2 本学が教育上有益と認めるときは、文部科学大臣が別に定めるところによって、前条に規定する授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第 28 条 学生は、その学年に履修しようとする科目を所定の期日までに届け出なければならない。届け出をしない科目は履修することができない。

第 29 条 科目を履修し、試験その他の適切な方法により、合格と評価された者に対して、所定の単位を与える。

第 29 条の 2 本学が教育上有益と認めるときは、本学と協定のあるまたは認定する他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、第 25 条の規定により学生が外国の大学に留学する場合に準用する。
- 3 前項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第 29 条の 3 本学が教育上有益と認めるときは、短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他 文部科学大臣が別に定める学修を、30 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第 29 条の 4 本学が教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学または短期大学において履修した 授業科目について修得した単位を、入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学が教育研究上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前 2 項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、30 単位を超えないものとする。

第 29 条の 5 第 27 条の 2、第 29 条の 2、第 29 条の 3 および第 29 条の 4 により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 29 条の 6 削除

第 30 条 卒業年次に限り、第 29 条に定める方法により不合格と評価された科目について、評価を一時保留として、再度の教育効果の測定のための試験を行うことができる。

- 2 前項の試験を再試験という。再試験については別に定める。

第 31 条 各科目につき、出席した時間数が出席すべき時間数の 3 分の 2 に満たない者は、第 29 条に定める方法による評価の対象とはならず、その科目修了の認定を受けることはできない。

第 32 条 削除

第 33 条 成績は、S・A・B・C・Fの5段階とし、Fは不合格となる。

#### 第 4 章 教職課程、司書・司書教諭課程、保育士養成課程、登録日本語教員養成課程

第 34 条 教育職員の免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法に定める科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

2 本学の各学科において取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類および免許教科
文学部	国語国文学科	中学校教諭 一種免許状 国語 高等学校教諭 一種免許状 国語
	フランス語フランス文学科	中学校教諭 一種免許状 外国語(フランス語) 高等学校教諭 一種免許状 外国語(フランス語)
	英語英文学科	中学校教諭 一種免許状 外国語(英語) 高等学校教諭 一種免許状 外国語(英語)
人間総合学部	初等教育学科	幼稚園教諭 一種免許状 小学校教諭 一種免許状

第 34 条の 2 司書・司書教諭となる資格を取得しようとする者は、図書館法および学校図書館法に定める科目をそれぞれ履修し、その単位を修得しなければならない。

第 34 条の 3 保育士となる資格を取得しようとする者は、児童福祉法施行令および児童福祉法施行規則に定める科目をそれぞれ履修し、その単位を修得しなければならない。なお、詳細は指定保育士養成施設

設である人間総合学部初等教育学科において別に定める。

第 34 条の 4 登録日本語教員養成課程を修了しようとする者は、日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律施行規則に定める科目を履修し、その単位を修得しなければならない。なお、履修方法に関する詳細は別に定める。

#### 第 5 章 賞 罰

第 35 条 次の各号の一つに該当する者に対し、学長はこれを賞することがある。

- 1 成績の優秀な者。
- 2 学生自治の向上に尽力した者。
- 3 学生の範となる行為をした者。

第 36 条 学業成績が優秀かつ品行方正な者で、経済的に学業の継続が困難となった者に対し、学長はこれを奨学生とし、奨学金を給与または貸与することがある。奨学金規程は別に定める。

第 37 条 本学学生にして本学の教育の方針にそむき、学生の本分を怠り、または成業の見込のない者に対し、学長は退学、停学または訓告の懲戒を加える。ただし、退学は、次の各号の一つに該当する者に対して行う。

- 1 性行不良で改善の見込がないと認められる者。
- 2 学業劣等で成業の見込がないと認められる者。
- 3 正当な理由がなくて出席常でない者。
- 4 学校の秩序を乱しその他学生としての本分に反した者。

## 第6章 卒業および学士の学位

第38条 第4条に規定する年限以上在学し、各学科の定める授業科目および単位数を修得した者に学位記を授与する。

第38条の2 卒業の時期は、学年末とする。ただし、前学期の終了日までに前条に規定する要件を満たした場合は、これを前学期終了時とすることができる。

第39条 本学において授与される学士の学位は次のとおりとする。

文学部	国語国文学科	学士（文学）
	フランス語フランス文学科	学士（文学）
	英語英文学科	学士（文学）
人間総合学部	児童文化学科	学士（児童文化学）
	発達心理学科	学士（心理学）
	初等教育学科	学士（教育学）

## 第7章 科目等履修生

第40条 本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、科目等履修生として履修を許可することがある。

2 科目等履修生は検定料および受講料を期日までに納めなければならない。

3 科目等履修生の規程については別に定める。

## 第8章 学納金

第41条 本学の学納金は、別表2のとおりとする。

第42条 やむを得ない事情があると認められた場合は、学納金の全部またはその一部を免除することがある。

第43条 学納金に関する必要な事項は、別に定める。

第44条 削除

## 第9章 附属施設

第45条 本学に白百合女子大学図書館を置く。

2 図書館の規程は別に定める。

第46条 本学に次の研究施設を置く。

- 1 白百合女子大学発達臨床センター
- 2 白百合女子大学児童文化研究センター
- 3 白百合女子大学言語・文学研究センター
- 4 白百合女子大学キリスト教文化研究所
- 5 白百合女子大学生涯発達研究教育センター

2 研究施設の規程は別に定める。

## 第10章 教育・研究支援センター

第47条 本学学生のため、ウェルネスセンターを置く。

2 ウェルネスセンターに関する事項は、別に定める。

第 48 条 本学の教育・研究の成果を地域、社会に還元し、本学の教育的活動の社会的展開を図るため、社会連携センターを置く。

2 社会連携センターに関する事項は別に定める。

第 49 条 本学の建学の精神に基づく教育理念の周知・実現のため、ルイ・ショーヴェセンターを置く。

2 ルイ・ショーヴェセンターに関する事項は別に定める。

付則 本学則は、昭和 40 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 42 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 43 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 47 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 51 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 54 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 55 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 56 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 57 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 58 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、昭和 60 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 2 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 4 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 5 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 6 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 7 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 8 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 9 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、平成 10 年 4 月 1 日より施行する。

本学則は、1999 年（平成 11 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2000 年（平成 12 年）4 月 1 日より施行する。

※ただし、第 25 条（2007 年 4 月 1 日からは第 26 条）の改正については、2000 年度入学者より適用する。

本学則は、2001 年（平成 13 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2004 年（平成 16 年）4 月 1 日より施行する。

※ただし、第 5 条の改正については、2004 年度入学者より適用する。

本学則は、2005 年（平成 17 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2007 年（平成 19 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2008 年（平成 20 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2008 年（平成 20 年）6 月 1 日より施行する。

本学則は、2009 年（平成 21 年）1 月 1 日より施行する。

本学則は、2011 年（平成 23 年）4 月 1 日より施行する。

本学則は、2012 年（平成 24 年）4 月 1 日より施行する。ただし、改正後の第 26 条の規定は、2012 年度入学者から適用するものとし、2011 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

本学則は、2013 年（平成 25 年）4 月 1 日より施行する。ただし、改正後の第 26 条の 2 別表については、2013 年度入学者から適用する。

本学則は、2014 年（平成 26 年）4 月 1 日より施行する。ただし、改正後の第 26 条、第 26 条の 2 別表、第 29 条、第 29 条の 2、第 29 条の 3、第 29 条の 4 および第 29 条の 5 の規定は、2014 年度入学者から適用する。



本学則は、2015年（平成27年）4月1日より施行する。ただし、改正後の第33条の規定および第26条の2別表については、2015年度入学者から適用する。

本学則は、2016年（平成28年）4月1日より施行する。ただし、改正後の第3条、第3条の3、第6条、第26条、第26条の2、第26条の2別表1、第26条の3、第34条、第39条および第41条別表2の規定は、2016年度入学者から適用する。文学部児童文化学科は、改正後の第3条の規定に関わらず、当該学科に在籍する者が在籍しなくなるまでの間存続するものとする。

本学則は、2017年（平成29年）4月1日より施行する。ただし、改正後の第26条の2別表1の規定は、2017年度入学者から適用する。

本学則は、2018年（平成30年）4月1日より施行する。ただし、改正後の第26条の2別表1のフランス語フランス文学科専門科目および児童文化学科専門科目については、2018年度入学者から適用する。

本学則は、2019年（平成31年）4月1日より施行する。

本学則は、2019年（令和元年）7月1日より施行する。

本学則は、2019年（令和元年）10月1日より施行する。

本学則は、2020年（令和2年）4月1日より施行する。

本学則は、2021年（令和3年）4月1日より施行する。

本学則は、2022年（令和4年）4月1日より施行する。

本学則は、2023年（令和5年）4月1日より施行する。

本学則は、2024年（令和6年）4月1日より施行する。ただし、改正後の第41条別表2の規定については、2025年度入学者から適用するものとする。

本学則は、2025年（令和7年）4月1日より施行する。改正後の第6条、第26条の3については、2025年度入学者から適用するものとする。改正後の第41条別表2の私費留学生に関する規定については、2026年度入学者より適用するものとする。

第 26 条の 2 別表 1

宗教学科目

必選区分	科目名	単位数
必修	キリスト教学入門Ⅰ	1
	キリスト教学入門Ⅱ	1
	キリスト教的人間論Ⅰ	1
	キリスト教的人間論Ⅱ	1
選択必修	キリスト教と社会・文化AⅠ	2
	キリスト教と社会・文化AⅡ	2
	キリスト教と社会・文化BⅠ	2
	キリスト教と社会・文化BⅡ	2
	キリスト教と社会・文化CⅠ	2
	キリスト教と社会・文化CⅡ	2
	キリスト教と社会・文化DⅠ	2
	キリスト教と社会・文化DⅡ	2
	キリスト教と社会・文化EⅠ	2
	キリスト教と社会・文化EⅡ	2
	キリスト教と社会・文化FⅠ	2
	キリスト教と社会・文化FⅡ	2
	キリスト教と社会・文化GⅠ	2
	キリスト教と社会・文化GⅡ	2
	キリスト教と社会・文化HⅠ	2
	キリスト教と社会・文化HⅡ	2
	キリスト教と社会・文化JⅠ	2
	キリスト教と社会・文化JⅡ	2
	キリスト教と社会・文化KⅠ	2
	キリスト教と社会・文化KⅡ	2
	キリスト教と社会・文化LⅠ	2
	キリスト教と社会・文化LⅡ	2
	キリスト教と社会・文化MⅠ	2
	キリスト教と社会・文化MⅡ	2
	キリスト教と社会・文化NⅠ	2
	キリスト教と社会・文化NⅡ	2
	キリスト教と社会・文化PⅠ	2
	キリスト教と社会・文化PⅡ	2
	キリスト教と社会・文化QⅠ	2
	キリスト教と社会・文化QⅡ	2
	キリスト教と社会・文化RⅠ	2
	キリスト教と社会・文化RⅡ	2
キリスト教学演習AⅠ	2	
キリスト教学演習AⅡ	2	
キリスト教学演習BⅠ	2	
キリスト教学演習BⅡ	2	

	キリスト教学演習C I	2
	キリスト教学演習C II	2
	キリスト教学演習D I	2
	キリスト教学演習D II	2
	キリスト教学総合演習	2

共通科目

必選区分	科目名	単位数
必修	ライフ・リテラシー入門	2
	はじめてのデータサイエンス	2
選択必修	ライフ・リテラシー応用	2
	美しい日本語を話す（基礎）	2
	美しい日本語を話す（実践）	2
	教養としての日本語	2
	ロジックを学ぶ	2
	信頼づくりの作法	2
	コミュニケーションの作法	2
	ライフ・マネージメント	2
	身体を考える	2
	文化と人間 I	2
	文化と人間 II	2
	哲学 I	2
	哲学 II	2
	現代思想 I	2
	社会と倫理 I	2
	神話の世界 A	2
	西洋史 I	2
	西洋史 II	2
	日本史概説 I	2
	日本史概説 II	2
	歴史からみた現代	2
	歴史の中の音楽	2
	政治学 A	2
	憲法	2
	法とは何か	2
	ジェンダー基礎論	2
	家族社会学	2
	ワークライフ論	2
	女性と人権	2
	女性と法	2
子どもの権利と国際社会	2	
社会福祉と私たち	2	
国際協力論 A	2	

インターンシップA	1
インターンシップB	2
観光文化論	2
数と形の世界A	2
数と形の世界B	2
自然科学の世界A	2
自然科学の世界B	2
地球と宇宙を知るための科学Ⅰ	2
地球と宇宙を知るための科学Ⅱ	2
生活の中にみる科学と技術Ⅰ	2
生活の中にみる科学と技術Ⅱ	2
食と環境	2
経済学	2
報道に見る子どもと家族	2
国際政治と社会課題	2
女性と起業	2
デザイン思考	2
ボランティア論	2
地域連携実践演習A	2
地域連携実践演習B	2
教養セミナー（人文）	2
教養セミナー（自然）A	2
教養セミナー（自然）B	2
家族政策	2
スポーツ・身体運動実習A	1
スポーツ・身体運動実習B	1
スポーツ・身体運動実習C	1
スポーツ・身体運動実習D	1
スポーツ科学概論	1
ICT ベーシックA	2
ICT ベーシックB	2
Web デザインとマルチメディア	2
プログラミングA	2
プログラミングB	2
データ分析演習A	2
データ分析演習B	2
コンピュータ概論	2
IT 実務演習	2
情報ネットワークとセキュリティ	2
データサイエンス演習	2

外国語科目

区分	科目名	単位数
----	-----	-----

外国語 科目群	総合英語Ⅰ	1
	総合英語Ⅱ	1
	総合英語Ⅲ	1
	総合英語Ⅳ	1
	英語コミュニケーションⅠ	1
	英語コミュニケーションⅡ	1
	英語コミュニケーションⅢ	1
	英語コミュニケーションⅣ	1
	フランス語AⅠ	1
	フランス語AⅡ	1
	フランス語AⅢ	1
	フランス語AⅣ	1
	フランス語BⅠ	1
	フランス語BⅡ	1
	フランス語BⅢ	1
	フランス語BⅣ	1
	ドイツ語AⅠ	1
	ドイツ語AⅡ	1
	ドイツ語AⅢ	1
	ドイツ語AⅣ	1
	ドイツ語BⅠ	1
	ドイツ語BⅡ	1
	ドイツ語BⅢ	1
	ドイツ語BⅣ	1
	中国語AⅠ	1
	中国語AⅡ	1
	中国語AⅢ	1
	中国語AⅣ	1
	中国語BⅠ	1
	中国語BⅡ	1
	中国語BⅢ	1
	中国語BⅣ	1
	韓国語AⅠ	1
	韓国語AⅡ	1
	韓国語AⅢ	1
	韓国語AⅣ	1
	韓国語BⅠ	1
	韓国語BⅡ	1
	韓国語BⅢ	1
	韓国語BⅣ	1
	選択フランス語Ⅰ	1
	選択フランス語Ⅱ	1
選択フランス語Ⅲ	1	

	選択フランス語Ⅳ	1
	選択中国語Ⅰ	2
	選択中国語Ⅱ	2
	選択中国語Ⅲ	1
	選択中国語Ⅳ	1
	選択韓国語Ⅰ	2
	選択韓国語Ⅱ	2
	選択韓国語Ⅲ	1
	選択韓国語Ⅳ	1
	海外研修（英語圏）A	2
	海外研修（英語圏）B	2
	海外研修（フランス語圏）A	2
	海外研修（フランス語圏）B	2
	海外研修（中国語圏）	2
	海外研修（韓国）	2
	オンライン海外研修（英語圏）A	2
	オンライン海外研修（英語圏）B	2
	オンライン海外研修（フランス語圏）	2
グローバル 科目群	EBCⅠ	2
	EBCⅡ	2
	リーダーシップ入門	2
	リーダーシップ応用	2
	ビジネスの基礎知識	2
	ビジネススキル	2
	物語力ワークショップ	2
	ビジネス・マーケティングA	2
	ビジネス・マーケティングB	2
	英語メディアで学ぶビジネス	2
	英語で考えるSDGs	2
	自己表現の技術と知識	2
	海外企業実地研修準備講座	2
	海外企業実地研修	2
	海外文化共創研修	2
	ホスピタリティの英語Ⅰ	2
	ホスピタリティマネジメント概論	2
	ホスピタリティマネジメント演習	2
	ホスピタリティの英語Ⅱ	2
	ホスピタリティマネジメント特講A	2
	ホスピタリティマネジメント特講B	2
	ホスピタリティインターンシップ研修	2
	海外ホスピタリティ研修	2
	舞台芸術実践演習	2

国語国文学科専門科目

必修区分	科目名	単位数
必修	基礎演習（古典）Ⅰ	1
	基礎演習（古典）Ⅱ	1
	基礎演習（近代）Ⅰ	1
	基礎演習（近代）Ⅱ	1
	基礎演習（変体仮名）	1
	基礎演習（漢文）A	1
	基礎演習（漢文）B	1
	基礎演習（日本語）	1
	国語国文学入門	1
	基礎講読A	2
	基礎講読B	2
	国語学概論Ⅰ	2
	国語学概論Ⅱ	2
	文学史A	2
	文学史B	2
	文学史C	2
	総合研究	2
	テーマ別研究Ⅰ	2
	テーマ別研究Ⅱ	2
	テーマ別研究Ⅲ	2
	テーマ別研究Ⅳ	2
	キャリア研究	2
	卒業論文	4
選択必修 Ⅰ	上代文学演習AⅠ	2
	上代文学演習AⅡ	2
	中古文学演習AⅠ	2
	中古文学演習AⅡ	2
	中古文学演習BⅠ	2
	中古文学演習BⅡ	2
	中世文学演習AⅠ	2
	中世文学演習AⅡ	2
	中世文学演習BⅠ	2
	中世文学演習BⅡ	2
	近世文学演習AⅠ	2
	近世文学演習AⅡ	2
	近世文学演習BⅠ	2
	近世文学演習BⅡ	2
	近代文学演習AⅠ	2
	近代文学演習AⅡ	2

	近代文学演習 B I	2
	近代文学演習 B II	2
	近代文学演習 C I	2
	近代文学演習 C II	2
	近代文学演習 D I	2
	近代文学演習 D II	2
	近代文学演習 E I	2
	近代文学演習 E II	2
	近代文学演習 F I	2
	近代文学演習 F II	2
	国語学演習 A I	2
	国語学演習 A II	2
	国語学演習 B I	2
	国語学演習 B II	2
	国語学演習 C I	2
	国語学演習 C II	2
選択必修 II	上代文学講義 A I	2
	上代文学講義 A II	2
	中古文学講義 A I	2
	中古文学講義 A II	2
	中古文学講義 B I	2
	中古文学講義 B II	2
	中世文学講義 A I	2
	中世文学講義 A II	2
	中世文学講義 B I	2
	中世文学講義 B II	2
	近世文学講義 A I	2
	近世文学講義 A II	2
	近代文学講義 A I	2
	近代文学講義 A II	2
	近代文学講義 B I	2
	近代文学講義 B II	2
	近代文学講義 C I	2
	近代文学講義 C II	2
	国語学講義 A I	2
	国語学講義 A II	2
	国語学講義 B I	2
	国語学講義 B II	2
	選択	国語国文学特講 (表現学) I
国語国文学特講 (表現学) II		2
国語国文学特講 (民俗学) I		2
国語国文学特講 (民俗学) II		2
国語国文学特講 (演劇) I		2



国語国文学特講（演劇）Ⅱ	2
書道	1
書道Ⅱ	2
日本中世史Ⅰ	2
日本中世史Ⅱ	2
日本近代史Ⅰ	2
日本近代史Ⅱ	2
現代語文法Ⅰ	2
現代語文法Ⅱ	2
第二言語習得	2
日本語教育教授法Ⅰ	2
日本語教育教授法Ⅱ	2
日本語教育研究	2
日本語教育実習	2
対照言語学	2
漢文学講義Ⅰ	2
漢文学講義Ⅱ	2
中国文学講義Ⅰ	2
中国文学講義Ⅱ	2
国語科教育法ⅠA	2
国語科教育法ⅠB	2
国語科教育法特講A	2
国語科教育法特講B	2
総合日本語ⅠA	2
総合日本語ⅠB	2
総合日本語ⅡA	2
総合日本語ⅡB	2
異文化とコミュニケーション	2
言語と社会	2
方言学	2
接触場面研究	2
言語学講義Ⅰ	2
言語学講義Ⅱ	2
日本語史A	2
日本語史B	2
デジタル文学入門演習	2
文芸創作演習	2

フランス語フランス文学科専門科目

必選区分	科目名	単位数
必修	1年フランス語ⅠA	2
	1年フランス語ⅡA	2
	1年フランス語ⅠB	2

	1年フランス語ⅡB	2
	1年フランス語ⅠC	2
	1年フランス語ⅡC	2
	1年フランス語ⅠD	1
	1年フランス語ⅡD	1
	2年フランス語ⅠA	2
	2年フランス語ⅡA	2
	2年フランス語ⅠB	2
	2年フランス語ⅡB	2
	2年フランス語ⅠC	1
	2年フランス語ⅡC	1
	フランス語圏文化概論Ⅰ	2
	フランス語圏文化概論Ⅱ	2
	フランス文学概論	2
	専門ゼミ準備研究	2
	キャリア研究	2
	専門ゼミⅠ	2
	専門ゼミⅡ	2
選択必修Ⅰ	フランス語発展総合ⅠA	2
	フランス語発展総合ⅠB	2
	フランス語発展総合ⅡA	2
	フランス語発展総合ⅡB	2
	フランス語発展読解Ⅰ	2
	フランス語発展読解Ⅱ	2
	フランス芸術・文学・歴史演習ⅠA	2
	フランス芸術・文学・歴史演習ⅠB	2
	フランス芸術・文学・歴史演習ⅠC	2
	フランス芸術・文学・歴史演習ⅠD	2
	フランス芸術・文学・歴史演習ⅡA	2
	フランス芸術・文学・歴史演習ⅡB	2
	フランス芸術・文学・歴史演習ⅡC	2
	フランス芸術・文学・歴史演習ⅡD	2
	フランス社会・生活文化演習ⅠA	2
	フランス社会・生活文化演習ⅠB	2
	フランス社会・生活文化演習ⅠC	2
	フランス社会・生活文化演習ⅠD	2
	フランス社会・生活文化演習ⅡA	2
	フランス社会・生活文化演習ⅡB	2
	フランス社会・生活文化演習ⅡC	2
	フランス社会・生活文化演習ⅡD	2
選択必修Ⅱ	フランス語上級実践研究A	2
	フランス語上級実践研究B	2
	フランス語上級実践研究C	2

	フランス語上級実践研究D	2
	資格のためのフランス語A	2
	資格のためのフランス語B	2
	資格のためのフランス語C	2
	フランス語アトリエA	2
	資格のためのフランス語D	2
	資格のためのフランス語E	2
	資格のためのフランス語F	2
	フランス語アトリエB	2
	フランス芸術・文学・歴史研究A	2
	フランス芸術・文学・歴史研究B	2
	フランス芸術・文学・歴史研究C	2
	フランス芸術・文学・歴史研究D	2
	フランス芸術・文学・歴史研究E	2
	フランス芸術・文学・歴史研究F	2
	フランス芸術・文学・歴史研究G	2
	フランス芸術・文学・歴史研究H	2
	フランス芸術・文学・歴史研究I	2
	フランス芸術・文学・歴史研究J	2
	フランス社会・生活文化研究A	2
	フランス社会・生活文化研究B	2
	フランス社会・生活文化研究C	2
	フランス社会・生活文化研究D	2
	フランス社会・生活文化研究E	2
	フランス社会・生活文化研究F	2
	フランス社会・生活文化研究G	2
	フランス社会・生活文化研究H	2
	フランス社会・生活文化研究I	2
	フランス社会・生活文化研究J	2
選択	フランス語実践研究A	2
	フランス語実践研究B	2
	フランス語実践研究C	2
	フランス語実践研究D	2
	フランス語実践研究E	2
	フランス語実践研究F	2
	仏語科教育法 I A	2
	仏語科教育法 I B	2
	仏語科教育法特講A	2
	仏語科教育法特講B	2
	フランス語教育実践研究A	2
	フランス語教育実践研究B	2
	卒業論文	4
	フランス語・文化入門演習	1

英語英文学科専門科目

必選区分	科目名	単位数
必修	英語読解ⅠA	2
	英語読解ⅠB	2
	英語表現ⅠA	2
	英語表現ⅠB	2
	Integrated English LearningⅠA	2
	Integrated English LearningⅠB	2
	英語読解ⅡA	2
	英語読解ⅡB	2
	英語表現ⅡA	2
	英語表現ⅡB	2
	Integrated English LearningⅡA	2
	Integrated English LearningⅡB	2
	1年セミナーA	2
	1年セミナーB	2
	2年セミナーA	2
	2年セミナーB	2
	3年セミナーⅠ	2
	3年セミナーⅡ	2
	4年セミナーⅠ	2
	4年セミナーⅡ	2
キャリア研究	2	
卒業論文	4	
選択必修	イギリス文学史A	2
	イギリス文学史B	2
	イギリス文化史Ⅰ	2
	イギリス文化史Ⅱ	2
	異文化理解	2
	アメリカ文学史Ⅰ	2
	アメリカ文学史Ⅱ	2
	アメリカ文化概論Ⅰ	2
	アメリカ文化概論Ⅱ	2
	英語圏文学	2
	英語史Ⅰ	2
	英語史Ⅱ	2
	英語学概論Ⅰ	2
	英語学概論Ⅱ	2
	コミュニケーション概論Ⅰ	2
	コミュニケーション概論Ⅱ	2
	Journalism EnglishⅠ	2

	Journalism English II	2
	Japanese Culture A	2
	Japanese Culture B	2
	East Asian Studies A	2
	East Asian Studies B	2
	英語教師のための英文法 I	2
	英語教師のための英文法 II	2
	英語科教育法 I A	2
	英語科教育法 I B	2
	英語科教育法特講 A	2
	英語科教育法特講 B	2
選択	TOEIC 入門	2
	TOEIC 初級	2
	TOEIC 中級 A	2
	TOEIC 中級 B	2
	TOEIC 上級 A	2
	TOEIC 上級 B	2
	TOEIC S & W	2
	英日翻訳演習 I	2
	英日翻訳演習 II	2
	児童英語教育法	2
	英語教育の理論と実践 I	2
	英語教育の理論と実践 II	2
	言語習得論 I	2
	言語習得論 II	2
	英語音声学 I	2
	英語音声学 II	2

人間総合学部共通科目

区分	科目名	単位数
選択必修	子どものイメージ	2
	子どもとファンタジー	2
	子どもと社会	2
	学校と発達	2
	家庭の教育・地域の教育	2
	子どもと福祉	2
	子育て支援論	2
	現代社会と生涯発達	2
	ジェンダーと社会	2

児童文化学科専門科目

区分	科目名	単位数
必修	児童文学入門 A	2

	児童文学入門B	2
	児童文学史・日本 I	2
	児童文学史・日本 II	2
	児童文化入門A	2
	児童文化入門B	2
	児童文学史・英語圏 I	2
	児童文学史・英語圏 II	2
	基礎演習 A	2
	基礎演習 B	2
	演習	4
	卒業論文	8
	キャリア研究	2
選択必修	映像制作 I	2
	映像制作 II	2
	キャラクター文化研究	2
	ストーリーテリング研究 I	2
	ストーリーテリング研究 II	2
	ストーリーテリング研究 III	2
	わらべうた研究	2
	マザーグース研究	2
	絵本制作 A I	2
	絵本制作 A II	2
	絵本制作 B I	2
	絵本制作 B II	2
	絵本制作 C I	2
	絵本制作 C II	2
	編集研究	2
	出版演習 I	2
	出版演習 II	2
	アニメーション制作 A	2
	アニメーション制作 B	2
	児童文学・日本 A	2
	児童文学・日本 B	2
	児童文学・ドイツ A	2
	児童文学・ドイツ B	2
	児童文学・イギリス A	2
	児童文学・イギリス B	2
	児童文学・フランス A	2
	児童文学・フランス B	2
	児童文学・アメリカ A	2
	児童文学・アメリカ B	2
	児童文学・カナダ	2
	児童文学・北欧	2

	児童文学・韓国	2
	YA文学	2
	おもちゃ論A	2
	おもちゃ論B	2
	キャラクター論	2
	マンガ論A	2
	マンガ論B	2
	アニメ論	2
	絵本文化論A	2
	絵本文化論B	2
	サブカルチャー論	2
	人形文化論A	2
	人形文化論B	2
	創作演習A	2
	創作演習B I	2
	創作演習B II	2
	翻訳演習 I	2
	翻訳演習 II	2
	伝承文学	2
	ネオ・ファンタジーA	2
	ネオ・ファンタジーB	2
	児童文化・紙芝居	2
	児童文化・民俗と子ども	2
	児童文化・子ども論	2
	絵本論	2
	幼年文学	2
	ライトノベル論	2
	少女マンガ論	2

発達心理学科専門科目

必選区分	科目名	単位数
必修	心理学概論A	2
	心理学概論B	2
	発達心理学基礎演習A	2
	発達心理学基礎演習B	2
	心理学統計法 I A	2
	臨床心理学概論	2
	発達心理学概論A	2
	発達心理学概論B	2
	発達臨床心理学概論	2
	心理学実験 I	4
	心理学実験 II	4
	心理学統計法 I B	2

		心理学統計法Ⅱ	2
		論文講読基礎演習	2
		英語論文講読演習	2
		キャリア研究	2
		心理学研究法	2
		心理学専門演習	2
		卒業論文	8
選択 必修 科目	特 講 科 目	知覚・認知心理学	2
		感情・人格心理学	2
		社会・集団・家族心理学	2
		教育・学校心理学	2
		発達心理学特講A	2
		発達心理学特講B	2
		精神疾患とその治療	2
		障害者・障害児心理学	2
		臨床心理学特講A	2
		臨床心理学特講B	2
	演 習 科 目	発達心理学演習A	2
		発達心理学演習B	2
		発達心理学演習C	2
		発達心理学演習D	2
		発達心理学演習E	2
		発達心理学演習F	2
		発達心理学演習G	2
		発達心理学演習H	2
		心理的アセスメントA	2
心理的アセスメントB	2		
選択科目	児童文化・民俗と子ども	2	
	児童文化・子ども論	2	
	公認心理師の職責	2	
	学習・言語心理学	2	
	神経・生理心理学	2	
	心理学的支援法	2	
	健康・医療心理学	2	
	福祉心理学	2	
	司法・犯罪心理学	2	
	産業・組織心理学	2	
	人体の構造と機能及び疾病	2	
	関係行政論	2	
	心理実習	2	
	心理演習	2	



初等教育学科専門科目

区分	科目名	単位数
必修	初等教育基礎演習 A	2
	初等教育基礎演習 B	2
	初等教育演習 I	2
	初等教育演習 II	2
	キャリア研究	2
	教育原理	2
	教育心理学	2
	教育の制度と経営 (幼・小)	2
	教育方法 (ICT 活用の理論と実践を含む。)	2
	特別な支援を要する子どもの理解と支援	2
	教育相談 (幼・小)	2
	卒業研究	4
	選択必修	国語
社会		2
算数		2
理科		2
生活		2
音楽		2
図画工作		2
家庭		2
体育		2
小学校外国語 (英語)		2
音楽演習 (器楽)		2
音楽演習 (合唱)		2
図画工作演習 (造形・描画)		2
体育演習 (体づくり・体操)		2
教育実習 (幼・小) 事前事後指導		1
教育実習 (幼・小)		4
領域健康		1
領域人間関係		1
領域環境		1
領域言葉		1
領域表現		1
保育内容総論		2
保育内容演習 (健康)		2
保育内容演習 (人間関係)		2
保育内容演習 (環境)		2
保育内容演習 (言葉)		2
保育内容演習 (表現)		2

保育者論	2
保育カリキュラム論	2
幼児理解	2
保育・教職実践演習	2
保育原理	2
子ども家庭福祉Ⅰ	2
保育の心理学	2
子ども家庭支援論	2
社会的養護Ⅰ	2
社会福祉	2
子ども家庭福祉Ⅱ	2
子どもの保健	2
子どもの健康と安全	2
子どもの食と栄養	2
乳児保育Ⅰ	2
乳児保育Ⅱ	2
子ども家庭支援の心理学	2
子育て支援	2
社会的養護Ⅱ	2
保育体験Ⅰ	1
保育体験ⅡA	1
保育体験ⅡB	1
保育実習Ⅰ	4
保育実習指導ⅠA	1
保育実習指導ⅠB	1
保育実習Ⅱ	2
保育実習指導Ⅱ	1
保育実習Ⅲ	2
保育実習指導Ⅲ	1
初等国語科指導法	2
初等社会科指導法	2
初等算数科指導法	2
初等理科指導法	2
初等生活科指導法	2
初等音楽科指導法	2
初等図画工作科指導法	2
初等家庭科指導法	2
初等体育科指導法	2
初等外国語（英語）指導法	2
教職論（小）	2
教育課程論（小）	2
道徳教育（小）	2
総合的な学習の時間の指導法（小）	2

	特別活動（小）	2
	生徒指導・進路指導（小）	2
	教職実践演習（小）	2
	教育体験Ⅰ	1
	教育体験Ⅱ A	1
	教育体験Ⅱ B	1
	教育体験Ⅲ A	1
	教育体験Ⅲ B	1
	学級経営論	2
	児童文化・子ども論	2
	おもちゃ論 A	2
	絵本文化論 A	2
	絵本文化論 B	2
	心理学概論 A	2
	心理学概論 B	2
	発達心理学概論 A	2
	発達心理学概論 B	2
	発達臨床心理学概論	2
	障害者・障害児心理学	2
	統計データの理解と活用	2
	学校臨床心理学	2
	学習指導法演習（国語）	2
選択	学校経営と学校図書館	2
	学校図書館メディアの構成	2
	学習指導と学校図書館	2
	読書と豊かな人間性	2
	情報メディアの活用	2

#### 教職に関する科目

科目名	単位数
国語科教育法Ⅱ	2
仏語科教育法Ⅱ	2
英語科教育法Ⅱ	2
教育原理（中・高）	2
教職論（中・高）	2
教育の制度と経営（中・高）	2
教育心理学（中・高）	2
特別支援教育概論（中・高）	2
教育課程論（中・高）	2
道徳教育（中）	2
総合的な学習・探究の時間の指導法（中・高）	2
特別活動（中・高）	2

教育方法（ICT活用の理論と実践を含む。）（中・高）	2
生徒指導・進路指導（中・高）	2
教育相談（中・高）	2
教育実習A（中・高）	5
教育実習B（中・高）	3
教職実践演習（中・高）	2
教育体験Ⅰ（中・高）	2
教育体験Ⅱ（中・高）	2

司書に関する科目

科目名	単位数
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2
図書館制度・経営論	2
図書館情報技術論	2
図書館サービス概論	2
情報サービス論	2
児童サービス論	2
情報サービス演習Ⅰ	2
情報サービス演習Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織論	2
情報資源組織演習（目録）	2
情報資源組織演習（分類）	2
図書館基礎特論	2
図書館サービス特論（学校）	2
図書館情報資源特論	2
図書・図書館史	2
図書館施設論	2
図書館総合演習	2
図書館実習	3

司書教諭に関する科目

科目名	単位数
学校経営と学校図書館	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2

**第41条 別表2：学納金**

1. 本学の学納金は次のとおりである。

科目	金額	備考

入 学 検 定 料	共通テスト利用選 抜（前期・後期） 15,000円	共通テスト利用選抜（前期・後期）併 願の場合は別に定める。
	共通テスト利用選 抜（前期・後期） 以外 35,000円	一般選抜併願の場合は別に定める。
入 学 金	240,000円	入学時のみ
授 業 料	740,000円	
施 設 設 備 費	300,000円	
維 持 費	100,000円	
心理学実験実習費	30,000円	人間総合学部発達心理学科のみ

2. シャルトル聖パウロ修道女会の会員（志願者を含む）に対して、学納金を免除することができる。
3. 同一法人による編入学者の入学金は、2分の1に減額する。
4. 再入学者の入学金は、2分の1に減額する。ただし、退学もしくは除籍後10年以上を経た者は対象外とする。
5. 2026年度（令和8年度）から私費外国人留学生（正規）に対し、授業料を2分の1に減額する。減額分は、後期授業料より差し引くものとする。ただし、学生の本分にもとる行為をなした場合は、減免措置を取り消す。